

2012 年 1 月 17 日

《報道資料 No.2012-021》

日本～欧州間で最短ルートとなる 10Gbps波長サービスの提供開始について

KDDI は、2012 年 1 月 31 日より、ロシア最大の長距離通信事業者 Rostelecom(本社:モスクワ、社長:アレクサンドル・プロボトロフ、以下ロステレコム)と共同で、日本～欧州間では最短ルート(注1)となる 10Gbps 波長サービスの提供を開始します。

本サービスは、日本～ロシア間を結ぶ光海底ケーブルネットワーク「RJCN」(注2)とロシア国内を経由して欧州へ至るロステレコムの大陸横断ケーブルネットワーク「TEA」(注3)および「TEA2」を利用し、日欧間を最短ルートで結びます。波長レベルでの提供により、大容量コンテンツやリアルタイムでの双方向通信を低遅延(注4)かつ安価にご利用いただけます。

KDDI は、ロステレコムとの協力により、RJCN～TEA を経由する東京～ロンドン間(総延長約 1 万 km)の専用線サービスにおいて 100%の稼働率(注5)を維持しており、主に金融機関のお客さまや欧州・アフリカなどで開催される各種イベントでの映像伝送など、厳しいネットワーク品質が求められる用途で利用されています。また、RJCN は日本海を経由するため、東日本大震災でも影響を受けることなく欧米向けの基幹ネットワークとして稼働した実績を持ち、今後もケーブルダイバシティとしての重要な役割を担っていきます。

KDDI は、グローバル規模のクラウドやデータセンター間の通信など、今後も増え続けるトラフィック需要に対応するため、グローバルネットワークの大容量化および高品質化に努めていきます。

(注1) 2012 年 1 月 16 日現在。KDDI 調べ。

(注2) Russia-Japan Cable Network

(注3) Transit-Europe-Asia

(注4) RJCN～TEA 経由ルートの日欧間伝送遅延値は、インド洋経由ルートと比較して 70～100msec、米国・大西洋経由ルートと比較して 45～60msec の短縮を実現(当社比)。

(注5) 日本/ロンドンの当社 POP 間において。2012 年 1 月 16 日現在。

以 上

(参考)RJCN~TEA による欧州~アジア間ケーブルネットワーク

